様式2　　令和元年度9月20日

令和元年度　評価計画及び自己評価

（計画・中間・最終　）　　広南中学校区　校番　2　学校名　呉市立広南中学校

a　学校教育目標	<広南学園> 未来を創る 「誇りを持って故里を語り，受け継ぎ，発展を担う志と力を育てる教育の創造」	b　経営理念 ミッション・ビジョン	〈ミッション〉 （学校の使命）	夢と志を持ち， 社会に貢献する人材を育成する
			〈ビジョン〉 （将来の学校像）	○深い学びの精神と感謝の気持ち，社会貢献への気概をもつ児童生徒を育て，地域から信頼される学校 ○地域文化の拠点として地域の活性化に貢献する学校

c　中期経営目標を踏まえた現状（進捗状況）と今年度の重点	「学びの変革」パイロット校の指定を受け，新学習指導要領の方向性を踏まえた教育の具現化を進め，特色ある教育課程および学校文化（礼節・挑戦・創造・貢献）が持続可能なる組織体制の構築してきた。 今年度は，9年間を見通したICT活用能力の育成を目指すカリキュラム開発に取り組む。また，地域の避難所の役割を担うための「広南避難マニュアル」を地域と協働して開発することを通して，災害に強い町づくりに貢献する。
育成を目指す資質・能力	挑戦・探究　責任・使命　感謝・貢献　協力・協働　知識・技能　情報収集・判断　思考・表現

評価計画（中期経営目標を設定してから ① ・ 2 ・ 3 年目）						自己評価					
						9　月			1　月		
重点	d 中期（3年間）経営目標	e 短期（今年度）経営目標	f 目標達成のための方策（こんなことをして達成します）	g 指標（効果を見とる目安）	h 目標値	i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価
★★★	㊐ 9年間を通して，Society5.0に必要な学力を育成する	教師及び生徒の言語能力・ICT活用力の向上	・各教科で，話型（つながり発言）とICTを活用したミニ研究授業を1回行う。	・「話型」「ICT」の活用についての教師アンケートの肯定的評価の割合 ・生徒アンケート「授業では理由を明らかにして発表している」の肯定的評価の割合 ・授業観察者の「評価シート」による評価　A以上の割合	90% 80% 80%	89% 77% 66%	99% 96% 83%	B B B			
		横断的・総合的なカリキュラムデザインおよび評価の工夫による学びの質の向上	・貫きカリキュラムのブラッシュアップ及び防災プログラムを含む新たなカリキュラムの開発を行う。 ・S問題及び評価活動の工夫を行う。	・「課題発見・解決学習」についての生徒アンケート肯定的評価 （H30　86%　県63%）	90%	83%	92%	B			
★★	㊐ 礼節と挑戦心を身に付け，健やかでたくましい心と体を育成する	生徒の相互指導能力の向上による学校の伝統文化の継承・発展	・生徒自身の課題とするために生徒会からの自主的な活動とする。 ・伝統の継承・発展に向けた生徒会の自律的な活動へ教師の立場から組織的に支援する。	・「自分から立腰の姿勢で学習したり，話を聞いたりしている」についての生徒アンケート肯定的評価 （H30　66%）	80%	73%	91%	B			
		不登校・低学力等の課題への組織的な対応能力の向上	・生活ノートや教育相談などで，個々の生徒の指導方針を明確化し，個別指導と個別支援を組織的に進めていく。	「毎日生活リズムを整えて生活しています」についての生徒アンケート （H30　72%） ・不登校生徒数の減少 （H30　2人）	80% 1人以下	82% 0人	103% 100%	A A			
★	㊐ 地域に感謝・貢献し活力を生み出す学校をつくる	地域の人材活用及び生徒の地域社会で貢献・協働できる場の充実	・地域，学校，生徒による広南避難プログラム開発会議を設立し2回実施する。 ・広南避難マニュアルを作成する。	・「地域貢献」についての生徒アンケート肯定的評価 （H30　98%） ・「地域との関わり」についての保護者アンケート肯定的評価（H30　98%）	98% 98%	96% 96%	98% 98%	B B			
		㊐ 活動の充実に向けた，子供と直接向き合う時間の確保（業務改善）	・教職員のタイムマネジメント力の向上を図る。 ・新たな取組を行う場合，既存の取組の縮小や廃止などスクラップアンドビルドを実施する。 ・PTA活動の精選を図る。	・「子供と直接関わる時間が確保されている」教職員アンケート肯定的評価 （H30 72．5%） ・時間外勤務時間の縮小 （H30 80時間/月の教員数　1人）	80% 0人	78% 0人	98% 100%	B A			

【k：評価】
A：100≦（目標達成）　B：80≦（ほぼ達成）＜100
C：60≦（もう少し）＜80　D：（できていない）＜60